

京都労山

2024年9月号

No. 375

発行日

2024年8月19日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>

【Eメールアドレス】 kyoto-waf@dab.hi-ho.ne.jp



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。



9月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 女性委員会	01
* 事務局長会議報告	02
* 2024 年 N02 (二酸化窒素) 測定のお知らせ	03
* 近畿ブロック「友が島 ごみ調査と戦跡めぐり」案内	04
* 自然保護セミナーの案内	05
* 自然観察会の報告	06
* 第16回初級登山学校募集案内	11
* 第16回初級登山学校日程表	12
* 第16回初級登山学校受講申し込み書	13
* 連盟交流会の案内第3弾	14
* クライミング委員会山行報告	16
* 国民平和大行進の報告	18
* 大文字山登山道整備の案内	19
* 大文字山登山道整備の報告	20
* 能登半島地震被災者支援活動報告	22
* 能登半島地震被災者支援石川県連ボランティア募集案内	27
* 全国ハイキング交流集会実施要項	29
* 全国ハイキング交流集会チラシ	31
* 2025 労山カレンダー入選者一覧	33
* 連載企画・日本二百名山登頂・第41回「笹ヶ峰」	35
* 連載企画・日本二百名山登頂・第42回「東赤石山」	36
* 9月号の案内	37
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

♪～山で歌いましょう～♪

女性委員会 三橋 順子

新田次郎の小説『孤高の人』のモデルと言われているのが、兵庫県出身の加藤文太郎です。一度は読まれていることと思います。

昨年の秋に新温泉町浜坂へ旅行に行って、新温泉町立加藤文太郎記念図書館を訪れました。建物自体が山をイメージして造られているそうです。1階は図書館で2階が加藤文太郎の遺品や資料が展示されています。

登山靴やピッケル、手帳、雪山の写真などが展示されていました。実物を目にすると、やはり文太郎さんの偉大さを痛感しました。

同じく兵庫県出身で、シンガーソングライターで山にも登るリピート山中さんは、「加藤文太郎の歌」を作り山で歌っています。加藤文太郎の生涯を

4分程の歌にしてあるのですが、最後には涙が出る程感動してしまいます。

15年位前、双六小屋に泊まった時に、山小屋コンサートが開かれていました

そこで歌われていたのがリピート山中さんでした。小型のギターを背負って山を登り歌を歌っています。山小屋コンサートの後はみんなで歌声喫茶?のようにフォークソングを歌います。

それがとても楽しくてハマってしまいました。それからほぼ毎年リピート山中さんの歌を聞くために双六岳に登りに行きました。

他にも、槍ヶ岳山荘や硫黄岳山荘などでも同じように山小屋コンサートがあります。槍ヶ岳や硫黄岳にも歌を聞くために登りました。

今年も6月に、八ヶ岳の根石岳山荘と硫黄岳山荘でのコンサートに参加してきました。

山に登って山小屋に泊まることだけでも、楽しくて気分が高揚します。そこで素敵な歌声が聞けて、その上一緒に歌を歌うのです。たまたま居合わせた登山者たちと、手拍子を打ち70年代の青春時代の歌を口ずさむのは至福のひとつです。

山でのこんな楽しみ方はいかがでしょう。



事務局長会議報告 （各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催）

8 月度会議：報告のみ 西山,左京,やましな,乙訓,右京,洛中,伏見,明峯 8 労山

各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

- ・[右京]<例会>7/7 六甲山・地獄谷 5 人,21 武奈ヶ岳～釣瓶～地蔵山 5 人<予定>8/11 大文字山,25 六甲ガーデンテラスでジギスカン交流会健脚・ケーブル・バス<その他>集い 7/25 テーマ「自分の安全を守るロープワーク」、8 月休み
- ・[やましな]<例会>7/13 応急処置・ロープワーク・読図勉強会疎水公園・事務所 12 人,13～17 苗場山・平標山 5 人<予定>8/3 愛宕山,25 交流会ビアパーティ<その他>鳥海山 4 本爪アイゼン装着不完全,雪渓トラバース時に外れ転倒,準備不足
- ・[西山]<例会>初級セミナー実技堂山 19 人,目俵インドアクラ 19 人<予定>8/7 ゆっくり西山,25～27 鹿島槍ヶ岳<その他>9 月 1 日から第 5 回中級教室開講
- ・[左京]<例会>7 月 9,21 日大文字山 3 人<予定>8/4 比良ヤケ山,31 八瀬ノ滝ゾーン山行<その他>7/31 岳人 5 月号で、必携山道具について報告と交流。
- ・[乙訓]<例会>7/13 音羽山 10 人,22～24 霞沢岳 4 人,8 月 2～4 夏山集中穂高・槍方面 3 コース 4 班 22 人<予定>8/24 大文字山火床・ナイト,25 青山高原<その他>熊情報による西代里山公園の休業は解除されました。
- ・[伏見]<例会>7/6 御在所岳岩トレ 8 人,27～29 白山集中登山 15 周年記念登山 3 コース 4 班 21 名<予定>8/4 大文字山 de ロープ,18 比良釣瓶山<その他>7/7 第 16 期総会 32 名、懇親会 28 名、新役員選出(副会長・事務局長交代)
- ・[洛中]<例会>7/6 金比羅岩稜トレ 14 人,12 フリークライムやまびこ計 39 人<予定>8/23～26 北アルプス(読売新道～高天原温泉～折立),24 福井(若狭駒ヶ岳)
- ・[明峯]<例会>7/10 初級体力トレ大文字山 3 人、21 初級分水嶺シリーズ北山 13 人<予定>8/17 初級権現山,24 初級距離歩き・体力トレ近江高島～寒風峠～北小松<その他>8 月つどい「基本の装備」、9 月「夏山報告」写真を持ち寄って。

連盟の取り組み、活動報告 （連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告）

- ・第 16 回初級登山学校要項と日程決定。今年は、若手補助講師数名が数名参加。必修事項として初級卒業後に 1 年間救助隊員として登録。主催者賠償保険を活用する。募集人員 15 名、受講料 35000 円。申し込みは 9 月 15 日迄に連盟教育委員会に送付。9 月 26 日ガイダンス。10 月 6 日机上 1、20 日実技 1 から授業開始。
- ・11 月 30 日(土)自然保護セミナー。教育部文化センター。講師福田真由子氏。300 円。
- ・9 月 9 日(日)第 4 回公開ハイク。行き先金勝アルプス。

次回 9 月 3 日(火)の事務局長会議は WEB 専用会議。PM7:30 より。

2024 年 8 月 10 日

各会 事務局及び自然保護担当者 様

京都府勤労者山岳連盟 自然保護委員会

委員長 平尾繁和

2024 年 NO₂（二酸化チツソ）測定のお知らせ

日頃より自然保護委員会の活動にご協力いただき、ありがとうございます。

以前にお知らせしましたように、10 月に各山岳会の皆さんに NO₂ 測定をお願いしています。本年度は隔年測定となった 2018 年から数えて 4 回目となります。

下記の要領にて実施いたしますので、ご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

1. 測定日時

2024 年 10 月 19 日（土）正午 ～ 20 日（日）正午までの 24 時間

- 1) 正午を前後する 2 時間(午前 10 時～午後 2 時) の間であれば設置・回収の時間に巾があっても構いません。ただし、測定時間 24 時間を守っていただくため、回収は設置された時刻と同じ時刻にお願いします。
- 2) 測定場所は、山地・山域です。(平地・市街地は除く)
- 3) 上記の日時に実施が困難な場合には、10 月中のご都合のつく日でお願いします。

2. 測定方法

- 1) ろ紙入りカプセル（別途、各山の会に配布します）を地上 1.5m 位の場所に取り付けます。
- 2) カプセルに雨などがかからないように、ペットボトルの内側にカプセルをテープ取り付ける方法が便利です。
- 3) 詳しくは後日、カプセル等を送付する際にお知らせします。

3. 回収カプセルの返送&問合せ先

- 1) カプセルの返送期日 11 月 6 日（火）までに
- 2) カプセルの返送及び問合せ先

自然保護委員会委員 中塚光史

京都府宇治市南陵町 2 丁目 1-83

TEL 0774-21-4121 E-mail n-recogkyopsy888@kcn.jp

お手数をおかけしますが、宜しくお願いいたします。

友が島 ごみ調査と戦跡めぐり

主催：近畿フロック自然保護委員会

友が島はゴミの島、ペットボトル、発砲スチロールの宝庫。
近年マイクロプラスチックが激増、それを食べた魚を人間が
食するため体内に取り込まれることが問題視されている。
回収したゴミを種類別に重量測定しゴミ問題を考える。

と き：10月25日（金）

フェリー臨時便10時発に乗船 帰り臨時便15時30分に乗船

集 合：南海電鉄・加太駅前 午前9時30分

南海電鉄・新今宮駅7時46分発 南海特急サザン3号が便利

参加費：フェリー運賃（往復で1980円）

コース：

- ①ゴミ調査班 野奈浦栈橋⇒南垂水海岸
- ②観光＋ゴミ調査班 栈橋⇒子午線広場⇒タカノス山展望台⇒
第3砲台跡⇒南垂水海岸 歩行時間：3時間

持ち物：お弁当、水筒、雨具、ヘッドランプ、地図、軍手、ゴミ袋45L
を2枚、（金バサミ）
キャンプ場ながらお店はありません

申込〆切：定員（約60人）に達し次第。

申込先：平尾 090-9861-6834 mb72ew23ml@kcn.jp
氏名、所属会、携帯番号、希望コース（①か②）をお知らせくだ
さい

～2024 年度 京都労山自然保護セミナー案内～

自然保護委員会

連続テーマ「北陸新幹線延伸計画の環境問題を考える」

今年は ～中池見湿地の取り組みに学ぶ

市民によるモニタリング調査の重要性～

中池見湿地は敦賀駅から 2km の距離にありながら特異な地形と多様な水環境から生物多様性の宝庫で 2012 年にラムサール条約に登録されました。しかしその直後、湿地の水源となる山と、湿地唯一の水の出口である谷「後谷」を通る北陸新幹線のルートが公表されました。その後、日本自然保護協会 (NACS-J) と地元市民団体の中池見ねっと・ウェットランド中池見による保護活動の結果、後谷を横断するルートは避けることができ、2019 年 1 月～2021 年 8 月でトンネル工事が完了しました。この工事による影響は、湿地本体については現時点では見られていませんが、深山から流れる湧水が激減して流水性のトンボ類が見られなくなるなど生物多様性が低下しました。これらの状況を改善するために、2022 年 NACS-J と地元市民団体は、事業者である鉄道・運輸機構に保全策の検討を要請し、2023 年その代償措置として、後谷の埋め立て盛り土を撤去して湿地空間を拡げることが決定しました。これらの活動について、担当された NACS-J の福田真由子氏にお話しいただきます。

現在計画中の敦賀駅から京都までの延伸ルートは、京都丹波高原国定公園の中央を縦断します。工事によって、環境や生物多様性の毀損を招くことがあってはなりません。由良川源流域・桂川原流域である京都丹波高原国定公園の自然についても学習し、この計画の問題について考えたいと思います。

日時 : 2024 年 11 月 30 日 (土) 13:30 ～ 16:30 頃

会場 : 京都教育文化センター 301 号室 (定員 60 名) リモート併用予定

(京阪電車 神宮丸太町駅東へ・市バス熊野神社前を西へ、共に 3 分)

講師 : 福田真由子氏 (日本自然保護協会 生物多様性保全部)

参加費 : 300 円

京都労山のふるさとの山である北山の自然を、巨大工事の環境破壊から守るため、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています。(会員外の参加もちろん OK です。)

建設費が、2 兆 1 千億円から 5 兆円超に、確実に費用対効果は 1 を切る！！

残土・地下水・ヒ素等はどうなる？ (機構が京都通過ルート 3 案を公表)

「北陸新幹線延伸計画の見直しを求める」要望署名

8 月 30 日に、機構 (大阪市) へ第 4 次分を提出します！！

世論調査で「再検討」「中止」が 6 割です (京都新聞)。見直しを求め、全国の労山からも署名が集まっています (この間 500 筆超)

※署名を、自然保護委員会まで結集してください。(用紙は京都労山 HP)

<宛先> 〒611-0002 宇治市木幡東中 24-12 平尾繁和宛

報告 清水正さんの“自然と遊ぼう” パート 8

2024 年自然観察会「大原から瓢箪崩山」 京都労山自然保護委員会

実施日：6 月 29 日（土）

場所：京都市左京区大原～寒谷峠～岩倉長谷町

案内：清水正氏

（NPO 自然観察指導員京都連絡会代表理事）

参加者：19 名

〈講師〉1 名

〈会員〉洛中 2 名、やましな 3 名、右京 1 名、明峯 2 名、山城 2 名、Lantan1 名
西山 2 名、左京 2 名、田辺 2 名、乙訓 1 名

行程：9：30 バス停花尻町集合→12：30 寒谷峠（昼食）→15：30 岩倉長谷解散

【全体報告】

自然観察会も今回 8 回目となりました。今回は、京都市左京区大原からスタートし、瓢箪崩山登山口の林道を進み、寒谷峠から岩倉へ下山するコース。

見所は、フモトスミレ、ツクバキンモンソウ（が確認できるか）、またハエドクソウ、オカタツナミソウ、カラコギカエデ等々、最後に京都大学の地震観測施設も。

幸い梅雨の晴れ間となり、約 6 時間かけて、里や里山の植物やキノコ、樹木を、清水先生の細かな視点と詳細なお話を聞きながらたっぷり観察しました。

先頭の先生の話や植物名が皆さんに伝わるように、ハンドマイクを使用、ホワイトボードに記入し高く掲げ、また付箋を貼り付けて（最後尾で回収）進みました。

出発後、しばらくは里歩き、沿道のオニグルミやヤマブドウの実、ナツメの木の話から。林道の斜面に水が染み出る所で、コヒロハハナヤスリ（京都の絶滅危惧種）の話を聞きました。森に入るとオカタツナミソウ、フモトスミレが。スミレもたくさんの種類があることを学びました。雨の後なので様々なキノコをみることができました。ハエ取り紙に使われたハエドクソウの花が咲いています。シダやカンアオイも多種類です。樹木では、特徴的な葉のコバンノキ、可愛い花のムラサキシキブ、珍しいカラコギカエデも。約 100 種の植物やキノコ、苔、樹木を観察ができました。林道途中で京都大学の地震観測施設の扉があり、この周辺は元々鉾山でその廃坑を改修したものという説明を聞きました。岩倉の里近くでも、植物観察は続き、最後に先生も興奮するノボリリュウタケの発見で盛り上がりました。初めて聞く見る植物、今回花が見られなかった植物も、季節を変えるとまた観察ができそうです。

心配していたヒル被害ですが、出発前や観察途中のスプレーやお互いにヒルチェックで協力し合ったおかげで、実被害は 1 件のみ報告を受けました。

蒸し暑い日でしたが、参加の皆様方のご協力ありがとうございました。初参加の皆さんも興味深く熱心に参加されていたようで、知らなかった里山の自然についてたくさん学ぶことができました。（記：自然保護委員会 洛中労山牧村）

【観察会で観察した植物】

〈午前〉

テングタケの仲間、オニグルミ、ノリウツギ（ウノハナ）、ノブドウ、スイカズラ、マユミ（青い実）、アメリカオニアザミ、ナツメ、ネムノキ、スモークツリー、コアジサイ、イワヒメワラビ、ヤブタビラコ、タラノキ、コヒロハハナヤスリ、コケオトギリ、イグサ、モリノカレバタケ類、シノブの仲間、ゼニゴケ（孢子）、イヌセンボンタケ、オオバイノモトソウ、ヒカゲノカヅラ、オカタツナミソウ、ミズタビラコ、カクミノスノキ、サンショウソウ、オトギリソウ、ミヤコアオイ、ジュウモンジシダ、クラマゴケ、ハシカグサ、タチツボスミレ、イワナシ、ジャケツイバラ、ジゴクノカマノフタ（キランソウ）、ムラサキニガナ、コナスビ、ヒナスミレ、トウゲシバ、マツカゼソウ、トウバナ、シキミ、ショウジョウバカマ、サワハコベ、カミガモシダ、トキワハゼ、アラゲキクラゲ、キヒダタケ、ネジバナ、テングタケの仲間、イシクラゲ、ヒトヨタケの仲間、アブラチャン、

〈午後〉

シロホウライタケ、アセビ、アカイボタケ、アベマキのどんぐり、ヒノキの実生、ニシキゴロモ、ヤマジノホトトギス、フイリシハイスミレ、ノササゲ、ハエドクソウ、ツノマタタケ、フモトスミレ、マムシグサ、ナガバタチツボスミレ、カテンソウ、ハグロソウ、ホウチャクソウ、ギンレイカ、ムラサキシキブ、ウバユリ、オカダイコン、アマチャヅル、アキチョウジ、ハナイカダ、ベニイグチ、シロホウライタケ、アカヤマタケ、ネムノキ、ノボリリュウタケの仲間、ハナオチバタケ、ウスタバガ（蛾）、ウラシマソウ、クマノミズキ、カラコギカエデ、ウメモドキの実、ハナビラニカワタケ、ヤツデ、ヤブデマリ、ウリハダカエデ、コクサギ、リョウメンシダ、ササユリ、シンミズヒキ、カワラハツ（キノコ）、マユミ

【参加された方の感想です】

・家から近い大原への山の自然観察、道端の草や小さな花の名前や生態を説明して下さり、名前などは覚えきれないが、何処かで見かけた時に記憶に残っていて楽しい気分になれると思った。この時期キノコが沢山生えていてこんな形もキノコかと思う程のキノコがあった。あらゆる草木を知っておられる先生に感心しました。何とかヒルに噛まれなかった。役員さんも下見をして頂き大変お世話になりました。

（左京労山 富澤さん）

・初めての自然観察会参加でしたが、大原から岩倉までの道に咲いている花や、草、木、苔、きのこまで、細かな説明を交えてお話してもらい、とても勉強になりました。ホワイトボードや付箋も良い配慮だと思いました。自宅から見えている瓢箪崩山、昨年岩倉の花園町から登り、次は、大原からと思っていたので申込みしました。クマ出没のお知らせをもらうと、なかなか登れない山です。又頭の中
の地図が一つ結ばれました。
(山城山の会 平岡さん)

・以前から参加したかった観察会。普段なら見過ごしていた草花、見たこともないキノコ、春に出来る虫こぶ、名前も聞いたことのない植物、特徴、見つけ方、見分け方と盛り沢山でした。沢山の参加者に伝わるように拡声器や草花にラベルを付けて最後の方が回収するなど、回を重ねてノウハウを作りあげておられることも有り難かったです。担当者の皆様に感謝です。
(洛中 山根さん)

・自然観察会は初めての参加でした。北山のヒルに気をとられて説明を聞くところではなかった場所もありましたが、草花、樹木その他、茸、サワガニ、カタツムリなどの110あまりの名前を教えてもらいました。名だけでなくその特徴を知ると、植物の不思議やしたたかさに感心するばかりでした。地元の人に「熊の道」と言われている道を歩いたようですが、約6時間楽しい時をもつことができました。
(やましな山の会 石倉さん)

・梅雨の晴間の観察会となりました。新しい発見がありました。案内頂いた清水さん有難うございました。

“大原の里 10 名山の瓢箪崩山”の近くをめざします。私は食べられる物と絶滅危惧種と聞くと特に気になります。オニグルミとなつめ。なつめは食べたことがありますが、食べられると聞いたオニグルミ。どうして食べるのだろうか、まだ青い実を見上げました。

ギンレイソウ。コヒロハハナヤスリ。カラコギカエデは京都府の準絶滅危惧種。ハエドクソウ(蠅毒草)は、ハエ取り紙に。毒があるのに小さいピンクの花は可愛くて、多くの人に写してもらっています。
子どもの頃から見ているネジバナは遅しく、街でも見られますが、ラン科とは意外でした。

昼食後、少し下ると、枯れた大木が横倒しになり、多くの木屑が見えます。キノコが、土に返す役目をしている。森の循環に感動です。京大の地震観測所の近くのビックサイズのウバユリは6年で花咲き、一生を終える。黄色とオレンジ色のラッパ状の花だそうです、まだつぼみでした。ササユリの小さな葉が5~6本。無事に成長して見事な花を咲かせてほしいです。参加されたみなさん、暑い中お疲れ様

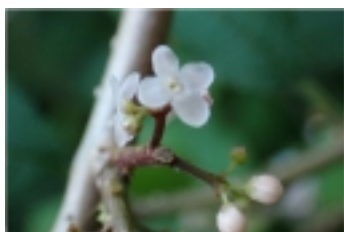
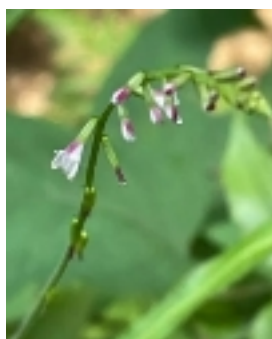
でした。

(委員 やましな山の会 射場さん)

・いつもの会の山行は体力、脚力が試されますが、自然観察会は清水さんの草花や樹木、きのこなどの説明についていくのが必死で、頭がふらふらになりました。しかし、あたためて知ることも多く、とても勉強になり、これからの観察の刺激になりました。さらに今回ヒルの出現に対応することもあり疲れしました。ゴールしてスパッツを外した所、ころりと血を吸って膨らんだヤマビルがでてきました。痛みもなく初めての経験でした。一番注意したつもりだったのに、吸われたのは不覚です。ただ後遺症もないので幸いでした。(委員 乙訓 松方さん)

・あまり興味のなかった茸、コケ、シダが面白く綺麗でした。小人になって森の中にいるようでした。また行きたいです。(委員 やましな山の会 臼井さん)

・参加して4回目になりますが、先生が小さな植物を見つけて、葉だけで区別され、その生態や詳細についてもエネルギーに説明されるのに毎回驚きです。たくさんの興味深い話を聞く事が出来て充実の観察会でした。今回はヤブタビラコやハエドクソウ、ムラサキニガナの可愛い花、綺麗なカミガモシダやクラマゴケなど、初めて知りました。またコナスビの名前の訳やマムシグサが性転換する話は印象的でした。スミレの分別は覚えきれず、今後の課題です。山を歩きながら、山に生きる自然を学べる楽しい機会でした。(委員 洛中労山 牧村)





第16回初級登山学校 募集要項

コース	普通	講師養成
目的	①安全登山思想・基礎的登山技術を普及できるリーダーを育成する。 ②無雪期 3000m級山岳一般縦走のリーダーを育成する。	連盟教育活動を次世代に発展継承する人材を育成する。
到達目標	①無雪期 3000m級岩稜縦走の実践(西穂高岳から奥穂高岳の縦走など) ②冬季低山の縦走	①初級登山学校での実技コーチ ②独自分野での講座メニューの構築
募集人員	15名	若干名
受講料	35000円 ※1	15000円 ※1
受講資格	① 労山基金5口以上加入している者。	① 労山会員で労山基金10口加入している者。 ②初級登山学校修了又は教育連対委員会が認める者。
申し込み	①申し込み用紙に必要事項を記入の上当委員会に提出すること。 ※2 ②受講者の確定はガイドンスで行う。	
必須事項	近畿協議会の雪崩講習会を受講する。 初級修了後1年間、救助隊員として登録する。	近畿協議会の雪崩講習会を受講する。
備考	搬出訓練・救急法は公開行事になる。	
受講者注意事項	① 講座および実技山行のときは講師および補助講師の指示に従う。 ② 実技山行及び修了山行をはじめ、連盟内で万一事故が発生すれば受講生は連盟救助隊と共に捜索救助活動に全力を挙げる。 ③ 実技山行及び修了山行において事故が発生した場合、捜索救助活動の費用は各人が加入している労山基金及び山岳保険並で対応し賠償を問われたときは連盟団体保険で対応する。これを越える費用は事故当事者の負担とする。	

※ 1机上及び実技の交通費や宿泊料、テーピングの材料費等は含まない。

※ 2申込用紙は、各会に配布する。受講希望者は必要事項を記入の上、所属会を通してFAXまたは郵送で、9月15日までに連盟に送付すること。京都労山HPからでも入手できる。申込用紙には所属会初級担当者についても記載すること。

※ 開講前、受講生を対象に9月26日(木)ガイドンスを開く。

※ メールにて受付も可

講師及び実技コーチ(予定、敬称略)

坪山芳樹(明峰)、川辺昭治(右京)、横井 功(明峯)、馬場重明(西山)、村上晃弘(洛中)、坪山未来(明峰)
永田潤平(西山)、小川 繁(乙訓)、野元 修(伏見)、西田道明(乙訓)、森久美子(乙訓)、梅若光明(乙訓)
椿原明子(洛中)、木地弘恵(西山)、岡本敬子(洛中)、山田健太郎(洛中) 他

主催 **京都府勤労者山岳連盟**

〒616-8042 京都市右京区花園伊町4 Tel:075-275-0453 Fax:075-468-1793

問 合 せ 先: 教育委員会 山下建男 Eメール:yamasansan326@gmail.com

電話:090-3184-8393

第16回初級登山学校日程表

2024年 10月6日(第一、日) 机上学習1 ＜ ＞	9:00～ 9:20	開校式
	9:20～12:00	安全登山思想とパーティー論
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	リーダー論と目的論
	15:00～17:00	登山の歴史と労山運動

10月20日(第三、日) 実技1 ポッカトレ山行 ＜武奈ヶ岳北稜＞

10月27日(第四、日) 机上学習2 ＜ ＞	9:00～12:00	読図と読図山行
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	無雪期実技山行の説明と装備
	15:00～16:30	雪山歩行技術
	16:30～17:00	積雪期実技山行の説明と装備

11月2・3日(土・日) 実技2 テント泊縦走登山 ＜比良全山縦走＞

机上学習3(近プロ講習会)

11月30日(第五土)	大阪労山事務所	10:00-17:00	登山者のための雪崩学
12月 1日(第一日)	須磨浦海岸	10:00-17:00	ビーコン学習

12月 8日(第二、日) 実技4 アイゼン・ピッケルワーク ＜リトル比良＞

12月15日(第三日) 実技3 読図山行 ＜瓢箪崩山＞

2025年1月11日～13日(土～月)実技5 雪山生活と滑落停止及びビーコン(ハヶ岳)

1月18日～19日(土～日)実技6 近畿ブロック雪崩講習会(岐阜・大日岳)

1月26日(第四日曜)実技7 積雪期搬出訓練(主催:連盟救助隊)

2月16日(第三、日) 机上学習4 ＜ ＞	9:00～11:00	雲の話
	11:00～12:00	地上天気図
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	高層天気図1
	15:00～17:00	高層天気図2

3月8・9日(土日) 実技8 雪山テント泊と雪上歩行訓練＜比良・八雲又は荒島＞

3月23日(第四、日) 机上学習5 ＜ ＞	9:00～11:00	救急法
	11:00～12:00	応急処置
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	岩登り① 概念と装備
	15:00～17:00	岩登り② 確保技術

4月20日(第三、日) 実技 9 岩稜縦走トレーニングとそのための技術①

4月27日(第四、日) 実技10 岩稜縦走トレーニングとそのための技術②

5月18日(第三、日) 実技11 岩稜縦走トレーニングとそのための技術③

5月24・25日(土・日) 実技12 夜間登山とビバーク

6月8日(第二、日) 机上学習6 ＜ ＞	9:00～12:00	テーピング
	12:00～13:00	昼食
	13:00～15:00	遭難対策
	15:00～17:00	修了山行ミーティングと計画書

6月15日(第三、日) 実技13 岩稜縦走トレーニング④

6月22日(第四、日) 実技14 無雪期搬出訓練(主催、連盟救助隊)

7月 6日(第一、日) 実技15 岩稜縦走トレーニング⑤ ＜Y懸尾根から焼杉山＞

7月13日(第二、日) 実技16 岩稜縦走トレーニング⑥

7月25日～27日(金・日)実技17 修了山行「西穂高岳から奥穂高岳への縦走」

修了山行予備日は設定しない。

8月27日(水) 机上学習7 「まとめ」と修了式

京都府勤労者山岳連盟 〒616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎075-275-0453、Fax075-468-1793

第 1 6 回 初 級 登 山 学 校

受 講 申 込 書

2024年 月 日

京都府勤労者山岳連盟教育委員会御中

第16回初級登山学校募集要項を確認して [] コースの受講を申し込みます。

受講希望者氏名（直筆）

【 受 講 希 望 者 の 履 歴 】

氏名		年齢	性別
住所 〒		生年月日	
TEL			
Eメールアドレス	携帯番号	コールサイン	
勤務先（住所と名称） 〒		労山基金加入口数	
TEL			
所属山岳会（名称と連絡先）		個人賠償保険の加入有無	
所属山岳会初級担当者氏名 E - メールアドレス		TEL	
緊急連絡先（住所と氏名） 〒		緊急連絡先との関係	
TEL			
直近5年間の主な山行歴（月を明記のこと）			

「2024 京都労山交流会」ご案内 ③

担当会：明峯労山・洛中労山

2024 年 11 月 9 日(土)～10 日(日)

会場 **グリーンパーク想い出の森**

(滋賀県高島市朽木柏 341-3)

参加費 **8,500 円**(講演会のみは 500 円)

★てんくう温泉入浴券付き(2 日間有効)

日 程

11/ 9(土) ・講演会:午後(決まり次第お知らせします)

・懇親会:夕～夜「炭火焼ガーデン」

バーベキューテーブルを囲んで交流の夕べ

その後もバンガローで二次会、あるいはてん

くう温泉で入浴も可。

11/10(日) 交流山行 A:想い出の森～蛇谷ヶ峰往復

B:朽木スキー場～蛇谷ヶ峰往復(車送迎)

C:道の駅～雲洞谷山往復(車送迎)

※コースは申込み時に選択願います。

宿泊場所 10 人用バンガロー(5 棟に分宿・寝具不要)

風呂・冷蔵庫・ガスコンロ付き

食器・調理器具はありません(食器は各自持参)

◎10 日の朝食、昼食は各自用意(朝のお湯、飲み物は準備します。)

会場まで ① 各自、車にて現地へ(想い出の森駐車場)

② 湖西線・安曇川駅から送迎バスあり(要事前申込)

○参加申込みは各会でまとめ、別途配信の参加申込書で交流会事務局へ送信願います。10 月 9 日締切

連盟交流会事務局

参加申込書（サンプル）

2024年11月9日(土)～10日(日)
グリーンパーク想い出の森(滋賀県高島市朽木柏 341-3)

会 名 []

会担当者

連絡先

※希望する項目に○を記入して下さい。山行については下記のA～Cのコースを選択願います。

11月10日（日）の交流山行

A：思い出の森—蛇谷ヶ峰往復

B：朽木スキー場－蛇谷ヶ峰往復（車移動）

C：道の駅くつき新本陣一雲洞谷山往復（車移動）

[illegible]

申込書提出先 横井 功（明峯労山）

PC アドレス iyokoi25@luck.ocn.ne.jp

申込み締切 10月9日(水)

京都労山交流会事務局

クライミング委員会山行 報告

公開 沢登り 《比良 八池谷》

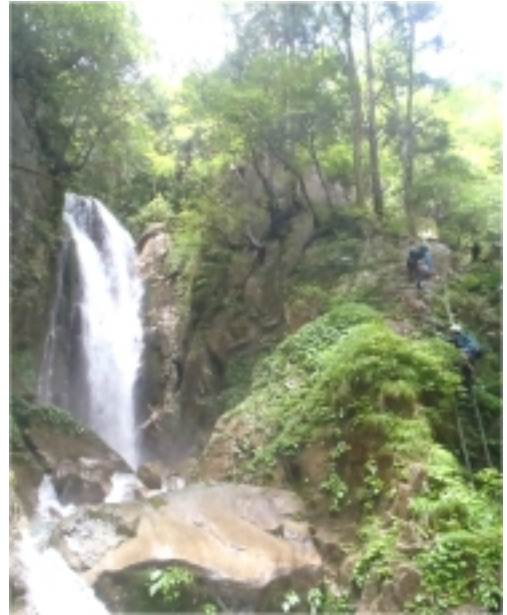
日：6月29日（土）曇り

参加者：森本(田辺)

委員：内野(洛中)、岩根(左京)、梅若(乙訓)、小泉(田辺)、青山大(やましな)

公開山行で沢登りに、前日の大雨で「予定通りに行きますか？」の声には、「何とでもなりますよ！」と返事をして決行。思っていたほどの濁流ではなかったけれど、さすがの水量でこの沢の楽しめるパートは上から見下ろして「僕らにアノ突破は厳しいね」、と…。

このコンディションだからなのかキャッキャ組には出会わず、釣り師一人とソロハイカー(?)が入渓してただけで静かな八池谷、のんびりマイペースで各々楽しめるところは楽しんで広谷まで遡行した。



～感想～

前日までの雨で京都の鴨川は土砂色に増水していたが、比良八淵の滝の鴨川源流は増水はしても濁りのない状況だった。沢靴に履き替えようとすると、登山靴や靴下に 潜ろうともがくヤマビルが3匹！

先頭のIさんの足の置き場をしっかりと見て慎重についていく。難所では説明を受けながら、安全な場所では面白そうなルートを選択して登る。やはり滝は水量が多く危険なので巻き道を登ることになるが、あっという間にオガサカ分岐に到着。しかし、ここから前に進もうにも自分の目では巻き道も見つけられず、後ろは増水した滝で引くこともできない難所が続く。ここでは経験豊富なAさんのルート提示があり、無事に広谷に到着できた。

今回初めてクライミング委員会の公開登山に参加させていただきました。経験豊富なメンバーとの沢登りは安心感があり、心身ともに楽しむことができました。貴重な体験機会をもらい感謝します。森本

今年初めての沢登り。水量が多くて登れない所もあったのは残念だったが、やっぱりみんなで登る沢登りは楽しい。自分としてはちょっとはしゃぎ過ぎのきらいはあったが。七遍返しの登りの確認が出来て良かった。

後半オガサカ道分岐～広谷までは以前の記憶と全く違ってしっかり滝があって、巻いたが記憶とはいい加減なものだ。躊躇なく登れんとあかんなあと反省。最後まで繋げるとボリュームがあっていいものです。岩根

待ちに待った沢登り。どんなものかと想像を膨らませながら初参加。思っていたよりかなりハードだった。

水に濡れた岩の足場も悪く前日からの増水もあり結構足を取られる。もし滑ったらザックの重量もあり踏ん張りきれなければ怪我をするかもと考え、自然と足や腕に余計な力を入れてしまう。徐々に足、腕に疲れを感じだしゴールの広谷まで残り 1/3 程度から、ここを登るのかと思う急登箇所が3か所ありかなり疲れた。

翌日、肩は筋肉痛。それでも初の沢登り色んな経験ができて楽しかった。

小泉



.....
【クライミング委員募集のお知らせ】

※クライミング委員会では、委員志望者を随時受け付けています。

希望される方は、各山岳会を通じてクライミング委員会までご連絡ください。

連絡先：kr_climb@yahoo.co.jp

※委員について

- ・登攀要素を含む山行(クライミング・沢登り・雪山など)を目指している方
- ・労山基金5口以上、またはそれらに準ずる山岳保険に加入している方

2024 年国民平和進行の報告

労山は「平和なくして登山なし」との立場で登山・ハイキングを行っています。東京―広島コース、富山―広島コースは全国連盟旗、「平和と登山」の幟旗がリレーされてきます。今年も 6 月 22 日に東京・広島コースが京都入りしました。

ここ数年コロナ禍で短縮コースがとられていましたが、今年はラクト山科公園から京都市役所までしっかり歩きました。参加者は、やましな山の会 9 名、西山 HC1 名、計 10 名でした。

23 日は乙訓の行進、向日市競輪場から大山崎町役場まで、一部参加も含め、西山 HC の 9 名が歩きました。

今年は労山旗だけがリレーされてきて、しかもポールがなく、23 日はポールを持って行き、旗を掲げることができました。

23 日の八幡コースから 26 日の奈良への引継ぎまで、富山―広島コース（6 月 30 日～7 月 4 日）、綾部―亀岡・京都府縦断コース（7 月 2 日～6 日）、京都市内網の目行進（6 月 21 日、7 月 6 日）に参加された労山会員（労組や民主団体など他の団体として参加したものも含めて）があれば、担当常任理事の安達まで連絡をお願いします。



乙訓コース 出発地点の向日町競輪場

京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡左俣登山道の谷を整備をします。それが終わったら左俣から D 尾根への登りの残った所と D 尾根の一部、左俣から上寺跡へ行く登山道の整備を行います。それが終わったらいよいよ右俣の整備です。

倒木整備は楽しいです。是非、一度、参加してみてください。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得ています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

雨天時等は安全のために整備を中止します。

★実施日： 9 月 8 日（日）、9 月 20 日

長年、月 2 回でしたが 9 月からは月 1 回にします。

雨天予想の場合は前日の 19 時までに判断して中止のみ連絡します。

★申し込み締め切り：実施日前の月曜日

★集合場所：JR 山科駅改札口付近 9 時 00 分（9 時には出発します）

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuo1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えてください。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）、お茶、お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ、虫除けスプレー等

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が 1/3 切れたら声を掛けること。1/3 でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・コロナがまた流行しています。本人や同居家族で微熱、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



京都府連盟～安祥寺上寺跡左俣 登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

登山時報夏号に全国の登山道整備の記事が載っています。大文字山登山道倒木整備も載っていますのでぜひ読んで下さい。ネットでも見られます。

2024年7月19日（曇り）京都大阪森林管理事務所現場視察同行

やましな：青山郁夫 久子 右京：西村澄子

京都大阪森林管理事務所 谷口芙美子野生鳥獣対策官

京都大阪森林管理事務所 東山・大津森林事務所 大石政弘主席森林官

安祥寺林道段野谷線入口ゲート 9:00-D尾根-上寺跡左俣-安祥寺上寺跡-上寺跡右俣-12:00 新ダム（解散）--13:30 山科駅

この日は京都大阪森林管理事務所から担当官が今後登山道整備で伐採する倒木調査と今までの整備跡の視察に来られ同行しました。伐採予定の木を1本ずつ、種別、直径、長さを記録して印を付けておられました。D尾根と右俣周辺で32本ありました。こうして京都大阪森林管理事務所から現地にこられるのは2019年の国有林内倒木整備以降初めてでした。いつもメールでやり取りしている方とお逢いして色々とお話もでき私たちが整備した跡を見てもらえて良かったです。

こうやって測定器を使って直径を記録して木に番号札を取り付けておられました。それにしてもお2人の健脚には感心しました。仕事ではやぶ漕ぎもしているとのことでした。

2024年7月20日（晴れ）やましな：青山郁夫 久子 右京：西村澄子

洛東高校前 8:31--9:08 林

道入り口 9:15--



9:40 登山道整備 14:07--15:04 山科

駅

左俣の倒木整備も一段落したので懸案であった右俣左俣合流点から左俣上部の橋までの谷の中と山の斜面を綺麗にしました。スイカを右俣で冷やして食べました。汗だくの中、冷たくてとても美味しかったです。

<西村澄子>

とても綺麗になりました。暑かったけれどスイカが美味しかったです。

<青山久子>

なかなか右俣に行けません。でも暑い時なので谷筋のせせらぎは気持ち良く、少しでも涼しくというリーダーの配慮と受けとめております。



整備前 枝で一杯



整備後 とても綺麗



切って、運び上げてと



2024 年 7 月 21 日（晴れ）

やましな：青山郁夫 久子 右京：西村澄子 荒木賢子

山科 8:44--9:17 林道入り口 9:25--9:38 登山道整備 13:40--14:36 山科駅

今日はダムの上流から合流点までと昨日の続きの左俣の橋から上流の谷と山の斜面を綺麗にしました。やはり 4 人ですると作業がはかどります。

<荒木賢子>

今日は とても暑く大変でした。沢の掃除で、水の中で小枝を拾ったりと涼しかったで。小滝も現れ、溪谷のような雰囲気でした。

来月もよろしくお願いいたします。

<西村>

ここへ来るのは今日で 3 日連続です。それにしても暑かったです。左俣の谷がどんどん綺麗になって行きます。

<久子>

昨日今日と蚊取り線香のおかげか虫の被害に遭わずに済みました。

もっばらこの登山道整備で体力と忍耐力、暑さ慣れを積み上げております。



こんなにきたない谷が こんなに綺麗になりました。谷道を歩くと気持ちが良いです。



谷の中の朽木を引き上げています。



小枝拾い。腰が痛くなります。

能登半島地震被災者支援ボランティア報告 ー石川県連との懇談会についてー

連盟ボランティア担当 青山郁夫

2024 年 2 月の第 36 回全国連盟総会で知り合った石川県連の浅瀬さんに連絡を取り、石川県連事務所でボランティアの懇談会を行いました。

実施日 2024 年 7 月 4 日 19 時 30 分～20 時 40 分 石川県野々市市の石川県連事務所

参加者 石川県連 会長：坂田孝雄 副会長：浅瀬和人 理事長：山内隆

会計：北市正（ボランティア担当）

京都府連 ボランティア担当：青山郁夫 随行：青山久子（お付き合い）

★義援金の使い道について

直接被害に遭われた被災者 10 人に対してお見舞金 復興支援ボランティアの一部として活用 石川県や日本赤十字社等を通した寄付金として活用 石川県や日本赤十字社等を通した寄付金として活用

★石川県連として復興支援活動ー詳細は登山時報春号 No583 に掲載

- ・もともと石川県連は「チブリの仲間」という石川県からの受託された白山チブリ尾根の登山道整備を定期的継続的に行っている。
- ・その知り合いを通じて RAT s N E S T という災害ボランティア組織を紹介してもらい、山岳団体としてボランティア活動に参加している。
- ・志賀町を拠点にして、パーティー行動、人力運搬、高所作業が可能という山岳団体の特徴を生かして、損傷したブロック壁の撤去と搬出、瓦の搬出など手作業のみで作業できる現場は県連ボランティアだけで完結している。
- ・また、日常的にハーネスを装着してペアでロープワークを実施するクライミング技術を活用して屋根瓦の修復作業において、屋根上で頂点の棟瓦を支点にした両斜面での作業に対応。

・ボランティア保険について

県主催のボランティア活動の際にはボランティア保険の加入が義務付けられている。しかし、一般のボランティア保険の適用範囲では重機を使用した際の事故は補償対象外のため、石川県連のボランティア活動では、グリーンボランティア保険に加入している。

- ・なお、石川県連会員は個人でも何人か一般のボランティアにも参加している。
- ・京都から復興支援ボランティアに来た時は連盟事務所に泊まって下さい。

★京都府連の復興支援活動の紹介

- ・震災の発生した 1 月の常任理事会でボランティア活動の提案をして承認を受けた。2

月に石川県ボランティアの団体登録をした。現時点で9団体15名の登録がある。

- ・1回目は2月中旬に4名で志賀町に活動に行き、それ以降1ヶ月に1～2回のペースで活動を行っている。
- ・初めの頃はボランティア募集の案内が来てもすぐに埋まり、なかなか思うように活動することができなかった。逆に現在は募集されるボランティア数自体が少なくなってきたり、内容も大型の家具や家電の搬出、運搬から今では納屋、倉庫の片付け、引っ越しのお手伝いと変わってきている。

★今後の取り組みについて

石川県連としては、

- ・7月から第2、第4土曜日を活動日として、ボランティアの案内を行っていく。
- ・深刻になり過ぎず、できる人が、できることを、できる時に、できる場所で行って行く。
- ・復興した際には能登に観光に来てください。

京都府連としては、

- ・石川県連と一緒に出来ることはないかと考えている。石川県連のボランティア活動に参加を希望する。
- ・能登の山に登って見たい。例えば輪島の門前町に雪割草の群生のある猿山がある。
- ・坪山さんと、高野さんの石川県連へのメッセージを紹介

★石川県連のボランティア活動状況をビデオで見せてもらいました。ハーネス装着で屋根の上の作業やロープを使って倒木の処理など山岳団体ならではの作業を積極的にされていました。凄いです。今、私たちが行っている一般ボランティアとは別の世界があることを知りました。

★京都府連からの石川県連のボランティア活動参加は石川県連も京都府連常任理事会も異論がありませんでしたので、さっそく8月10日に参加してきます。実際に参加してみて京都府連ボランティア登録者でも活動ができる内容なら継続的に参加して能登半島復興支援に貢献して行きたいと思っています。

★なお、石川県連のボランティア募集案内はJWAF journalの8月号に載っていました。石川県連は全国からボランティアを募集する方針になったようです。



石川県連7月ボランティア募集案内より 活動イメージ写真



登山時報 No583 石川県連

活動紹介原稿より

第 13 回 能登半島地震被災者支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

活動日：2024 年 7 月 28 日 29 日 活動場所：珠洲市（石川県取り組み）

参加者：やましな：青山郁夫 久子 西山 HC:松野周治 右京：西村澄子

7 月 27 日：山科駅 11:30-15:54 志賀町大島キャンプ場テント泊 331km

7 月 28 日：大島キャンプ場 5:03-6:24 日本航空ベースキャンプ場 394km-7:40 ボラバス-8:22 珠洲市ボラセン 9:12-9:25 被災者宅で活動 14:44-15:02 珠洲市ボラセン 15:57-ボラバス-16:40 日本航空ベースキャンプ場-17:12 日本航空ベースキャンプ場の学舎に入る。宿泊。

★軽トラ 2 台、送迎者 1 台 9 人で珠洲市蛸島町の海岸近くの被災者宅方訪問

・公費解体予定のおうち。ご主人、若夫婦、小さなお子さん。避難所から戻られた。

奥さまは伏見区の大亀谷出身。大型の家具類は既に搬送済み。2 階の家具椅子等々を一階に降ろす。1、2 階の要不用品を判別。輪島塗りの什器、陶器のお皿、みんな新品。包んである新聞紙を見たら昭和 31 年だった。子どもさん(今の若主人)の表彰状、結婚式の写真など一杯不用品になっていた。仮置き場に計 6 台分搬送した。要不要の判別はすべて終了。2 階一部大型家具他残り。

7 月 29 日：日本航空ベースキャンプ場 7:35-ボラバス-8:22 珠洲市ボラセン 9:01-9:13 被災者宅で活動-仮置き場搬送（2 回）14:53-15:00 珠洲市ボラセン 15:37-ボラバス-16:27 日本航空ベースキャンプ場、シャワーを浴びる 17:13-尼御前夕食-23:40 松野宅-0:00 西村宅近く-0:31 自宅 811km

★軽トラ 2 台 4 人で珠洲市上戸町の山間部の被災者宅方訪問

・80 歳代のご夫婦。ここも大型の家具等は既に搬送済み。家の外に出してある被災品と建屋内の被災品、倉庫の瓦と農機具を搬送。部屋の中のスチール棚搬送依頼を受ける。ここのおうちも輪島塗りの什器、陶器のお皿、ガラスのコップ、どれもが新品。一杯あった。瓦はビニール袋に入れてあった。苦勞して入れられたが土嚢に詰め替えた。頂いた 2 連のアイスが美味しかった。

右京 芳山 西村 澄子

北陸ボランティアに、参加して

珠洲市 での復興がずいぶん遅れている事に驚きました。ペチャンコで其のままの家、平行四辺形で其のままだったり道路も、波うってたりとジェットコースターに乗ってる様でした。暑かったですが、少しはお手伝い出来たのかな？と、感じました。

やましな山の会 青山郁夫

珠洲市には初めて行ったが震源地に近く倒壊した家が実に多い。特に1階が押しつぶされて1階の屋根がそのまま地面に着いている家が多かった。お正月を家族みんなで楽しんでいる時の突然の地震。きっと、おじいちゃんもおばあちゃんも、家に帰ってきた子供夫婦、お孫さんも一瞬のうちに家の下敷きになり亡くなったり大ケガをされたと思うと心が痛んでならない。

山崩れが多かったのも目についた。山崩れで押しつぶされた家もあった。きっとあの状態では全員助かってはいないだろう。可哀そうでならない。

ボランティア要員は減り続けているがまだまだ被災地の多くの人は支援を求められていると思う。何とかならないのだろうか？

やましな山の会 青山久子

ようやく震源地の珠洲市まで来た。その状況に胸が痛む。震災から半年経った今も倒壊、それも1階部分が揺れの激しさと2階の重みで押しつぶされ、2階の底が地面にまでついており、手のつけようのない家屋が市内の道路のあちこちで見受けられる。集落の大半がこのような状況の中、仮設住宅での生活も始まっているようだが、心身ともに心落ち着ける日々はまだ先のように感じる。

輪島ベースキャンプから珠洲市に向かう途中、中斉地区から桜峠の間にサルビアロードと呼ばれる道路の両脇にサルビアが咲いている区間がある。前回6月に内浦に来た時にはちょうどサルビアの苗が植えられた時だったが、今回はみごとに赤い花が咲いていた。震災で大変な思いをされておられるのにこうして地元に戻ってこられる方々や観光客を楽しませる為に毎日お世話して下さっている地元の農家の方には頭が下がる。本当に心が和まされた。ありがとう！

私も少しでも復興のお手伝いができたらという想いでこれからも活動していきたい。とは言え、募集人数や日数が少なくなり、7月8月と予約できない方が多く、このままボランティア活動が尻すぼみになっていくのではないかと危惧している。今後は石川県災害対策ボランティア以外の活動も探っていくことになるのかな。



珠洲市のボラセン



軽トラを運転して出発



被災品を仮置き場に搬送

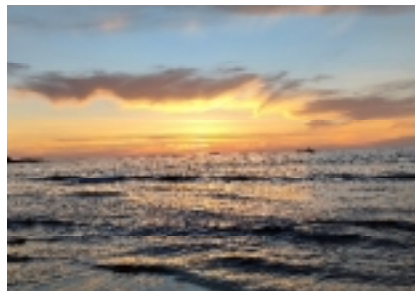
震源地・珠洲市での震災復興ボランティア活動

西山ハイキングクラブ・松野周治

7月27日(土)11:30 山科駅前出発、今回も青山夫妻の車で名神、北陸道、のと里山海道を通り、京都府勤労者山岳連盟チーム4人の1人として、2泊3日の能登大震災復興支援ボランティア活動に参加した。2月の志賀町、5月の七尾市に続いて3回目の活動で、とにかく被災地の南端から北端まで行ったことになる。一日目は日本海の大島キャンプ場(羽咋市)でテント泊。2日目早朝、のと里山空港(現在1日2便)まで移動、ボランティアバス(約25名)約40分で珠洲市の活動センターに到着、9時半頃から3時まで活動、再びバスで空港まで戻り、ベースキャンプ(日本航空高校の校舎)に宿泊(教室の中に設置された広く、簡易ベッドやマットレス、毛布も備えられた個人テント)。3日も同じように珠洲市往復で活動、夕方5時過ぎに空港出発、青山夫妻運転で深夜11時半ごろ自宅まで送っていただいた。

これまで同様、活動内容は被災家財の運び出し、1日目は9人で軽トラ2台、2日目は我々4人で軽トラ1台、フルに活動できた。聞いてはいたものの、震源地、珠洲市における被害の大きさを自分の目で確かめることになった。「危険」のステッカーがほとんどの住宅に貼られている。電気は一応来ているものの、水道は幹線までで、住宅内の配管が壊れているため通水不可能。避難生活を続けざるを得ない状況がまだ続いている。発災後7ヶ月が過ぎ、道路はなんとか通れるようになったものの、散乱した家財の整理もまだ完了していない。2日目のお宅は、高齢のご夫婦二人で母屋を公費解体(前提として家の中を空にしなければならない)し、納屋で生活するとのこと。子供はいるが、二人で生活できる限りは自分たちだけで暮らす、ただ、集落11軒のうち数軒がすでに転出し、寂しくなっている、とのことだった。生活再建の前提である片付けが完了しないまま、緑と海、自然豊かな地域の消滅が始まっている。

活動日・募集人数がどんどん少なくなっている(青山さん)。若者や壮年者を中心にたくさんのボランティアが活動しているものの、募集開始とともに、枠が埋まってしまう状況が最初から現在まで続いている。被災者の要望(潜在も含め)に最大限応えるとともに、美しい自然と豊かな地域社会の復興と再生を祈っている。



能登半島地震「山岳団体の特色を活かした復旧ボランティア」募集の依頼

下記の通り能登半島地震復旧ボランティアを募集しますので、各会におきましては
会内への周知と参加者募集をお願い致します。

【背景】

発災から半年以上が経過しましたが、一時避難場から帰還出来ない被災者が多数あります。
要因として仮設住宅の不足と共に、自宅の仮復旧が進んでいない現状があります。
早急に雨漏りや周囲の危険を補修し、自宅へ戻れるようにする事が復興を進める事に繋がります。
一方、一般ボランティアすら減少しており、より高度な住居復旧作業には手が回っていません。
そこで、山岳団体としての特色を活かしたボランティア活動を実施します。

【作業内容】※詳細は作業詳細を参照

①クライミング技術を活かした屋根作業

作業内容：棟瓦を境に双方で又は屋根中央に張った親綱を支点にして、不良瓦の撤去、ブルーシート貼
対象者：個人又は会所有のハーネスの装着、8字結び、プルージック結びを自己で行える方
作業場所：志賀町富来の各地

②狭小傾斜地での作業

作業内容：狭小急斜面での土砂運搬、崩壊防止の大型セメント袋設置
撤去する土砂を土嚢袋に詰めて運搬、セメント袋に詰めて崩落防止します
対象者：一般的な体力があり、斜面での作業が可能な方
※危険が予測される時は上部の立ち木から確保を取ります
作業場所：志賀町地保地区

【実施日、集合場所】

実施日：8月3日（土）、10日（土）、17日（土）、31日（土）

集合場所：道の駅とぎ海街道 8:30

石川県羽咋郡志賀町富来領家2-11 <https://togi-michinoeki.com/>

※トイレあり、コンビニ隣接、入浴施設隣接

※交通費は乗り合わせたメンバーで清算して下さい

持ち物：（必須）作業出来る服装、ヘルメット、飲料、昼食、行動食

（①作業希望者）ハーネス、スリング、カラビナ、ロープ（持っている方）

【申し込み】

申込先：石川県勤労者山岳連盟 理事 北市 正 mail:nagato1931@yahoo.co.jp

締め切り：各実施日の3日前まで ※申込者には別途案内しますが、下記を実施して頂きます

①ボランティア主催団体(RAT's NEST)への活動参加登録

[RAT志賀町テクニカルボラセン 参加申込 ★初回用 \(google.com\)](#)

②各会毎の参加者名簿（緊急連絡先の記載されたもの）

③ボランティア保険への加入 <https://s-omamori.jp/>

[しえんのおまもり | ボランティアのときの保険 \(s-omamori.jp\)](#)

※社共の保険は技術ボランティア活動に適用されません

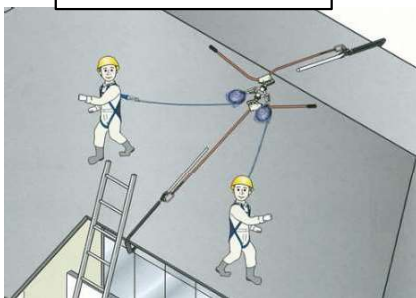
【作業詳細】

①クライミング技術を活かした屋根作業

棟瓦を境に双方で確保を取って作業



親綱で確保を取って作業



ブルーシート貼り付け作業状況



②狭小傾斜地での作業



住居裏の崩壊土砂を搬出運搬
(土嚢袋に入れてバケツリレー)
セメント袋に入れて積み上げて崩壊防止

10 月 5 日～6 日

全国ハイキング交流集会

実施要項

申込書 = 労山事務局へお送りください。

メール jwaf@jwaf.jp、**FAX**03-3235-4324

第 24 回 全国ハイキング交流集会実施要綱

「低山から高みへ 仲間を増やし、頑張ろう！」

実施日 2024 年 10 月 5 日（土）～6 日（日）

主 催 日本勤労者山岳連盟（担当ハイキング委員会）

主 管 静岡県勤労者山岳連盟

会 場 静岡県伊豆長岡温泉 いづみ荘 055(948)1235

最寄り駅 「伊豆長岡駅」から送迎あり

規 模 宿泊参加者 50 名、日帰り参加者 20 名

参加費 15,000 円（一泊二食付き）

日帰り 1,000 円（ハイキング A B C 第 5 版贈呈）

日 程 **10 月 5 日（土）**

12：30 受付開始

13：00 開会（全体会場は 2 階宴会会場）

13：05～13：20 基調報告（田上千俊委員長）

13：30～15：00 記念講演 気象予報士 野尻英一

「今さら聞けない天気常識と

ネットで分かる気象情報」

15：15～15：45 活動報告

（前橋 H C ・大田 H C ・山陽カルチャー MC）

16：00～17：30 分散会

17：30～18：30 各部屋に戻り、入浴

18：30～20：30 夕食交流会

10月6日（日）

7：00 朝食

8：30～9：30 分散会討論の続き

9：30～10：00 全体集会・分散会報告

10：10～ 閉会挨拶 八木澤昌通委員

10：30～ 交流ハイキングへ出発

（いずれのコースも静岡の仲間が同行します。

昼食の弁当は集会申込時に受け付けます。）

交流ハイキングコース

①野尻気象予報士と登る葛城山 452m

（観天望気講習のためロープウェイ利用。）

②大仁城山ハイキング＝342m

（登山口まで静岡県連盟会員が車手配します。

登り1時間、下り45分山頂の展望良い。

南壁・東南壁はクライミングで有名。）

③歴史ハイク＝伊豆長岡七福神めぐり

（約6キロ、2時間）

申込締切 9月20日（定員になり次第締め切ります。）

講師紹介

野尻 英一さん（気象予報士）1962年生まれ。小学校の時読んだ本で雲の形や台風に興味を持ち、5年生の時にはNHKの「気象通報」を聞き何と天気図を作成したという神童。1998年に気象予報士の国家試験に合格。2019年に700山登山を達成。都内品川区在住。立川市、八王子市で15年以上にわたり講座を実施している。

低山から高みへ 仲間を増やし、頑張ろう

第22回



記念講演 10/5 13:30~15:00

『いまさら聞けない天気常識 とネットで分かる気象情報』

気象予報士／野尻英一さん

【野尻さんの横顔】1962年生まれ。小学校の時読んだ本で雲の形や台風に興味を持ち、5年生の時にはNHKの「気象通報」を聞き何と天気図を作成したという。1998年に気象予報士の国家試験に合格。2019年に700山登山を達成。

★日時 10月5日(土)13:00~6日(日)10:30

2日目終了後 交流ハイクあり(自由参加)

★会場 静岡県・伊豆長岡温泉

いづみ荘旅館(長岡温泉第1号 源泉の宿)

★参加費 15,000円(1泊2食付)

日帰り参加は1,000円

★募集 宿泊50名 日帰り20名

★交通 伊豆長岡駅より会場へバスで送迎

●1日目 13:00開会

基調報告

田上：ハイキング委員長

記念講演 13:30~15:00

各会・活動報告(前橋HC、東京大田HC、山陽カルチャーMC)

分散討論

入浴・夕食交流会

●2日目

分散討論(～10:30)終了後、
3コースに分かれて
交流ハイキング

①野尻講師と登る葛城山452m
(観天望気講習のため)

ロープウェイ利用)

②大仁城山(おおひとじょうやま)342m(登山口まで静岡県連
会員が車で送ります。)

③歴史ハイク 伊豆長岡七福神
めぐり(約6キロ、2時間)

主催 日本勤労者山岳連盟 ハイキング委員会
主管 静岡県勤労者山岳連盟

全国ハイキング交流集会 IN 静岡 参加申込書

2024 年 10 月 5 日（土）～ 6 日（日）静岡県伊豆長岡温泉・いずみ荘
で開催の全国ハイキング交流集会に参加申し込みいたします。

○氏名（フリガナ）

○年 齢 （ 歳）

○所属地方連盟 （ ）

○所属会・クラブ名 （ ）

○住 所 （ ）

○電話番号 （ ）

○メールアドレス （ ）

○参加手段 1、公共交通機関 2、自家用車

（公共交通機関利用参加者には申し込み受付後、伊豆長岡駅の

送迎バス時間等をお知らせします。）

1、宿泊する。 2、宿泊しないで日帰り参加する。

5 日のみ、 両日、 6 日のみ （○をつけて下さい。）

交流ハイキング参加申し込み（参加するコースに○をつけて下さい。）

1、葛城山観天望気ハイキング（ロープウェイ料金往復 2200 円かかります。）

2、大仁・城山ハイキング（往復 2 時間半程度の歩程です。

登山口まで静岡県連盟の仲間が送迎します。）

3、伊豆長岡七福神めぐり 歩程約 6 キロ（2 時間半程度）

昼食のお弁当を 1、申し込む 2、申し込まない（○をつけて下さい。）（700 円程度）

宿泊参加の方は後ほど、参加費の振込依頼書をお送りします。日帰りの方は
当日、受付で参加費をお支払いください。

上記の情報は、全国ハイキング交流集会でしか使用いたしません。

送付先 メール jwaf@jwaf.jp FAX 03-3235-4324

2025 年版 JWAF カレンダー

掲載写真が選出されました！

7月8日、全国連盟事務所にて、来年のJWAFカレンダーの写真選考が行われました。会員みなさんから思い思いの写真を自由に応募いただき、総数 208 点から、表紙を含めた 13 点が選出されました。

カレンダーの体裁は、2024 年版と同様に B4 サイズ・中綴じ 28 頁で、曜日の並びは会員から寄せられた意見を反映し、「日曜はじまり」に変更します。カレンダーには各地方連盟の連絡先を掲載しています。定価 1,000 円(税込)で、申し込みの詳細については 10 月頃にご案内します。

選考所感 小松由佳(ドキュメンタリーフォトグラファー)

今年も迫力あるたくさんの写真の応募をいただき、うっとりするような作品の数々でした。その中でも、視点の面白さ、捉えている光の美しさ、物語を感じるかという点から選考をさせていただきました。

表紙は、奥穂縦走路から臨むジャンダルム。作者の胸の高揚感が伝わってきます。

一月は、白馬三山をバックにした雪景色。抜けるような青い空と白い雪のコントラストが美しい一枚です。二月は、空に聳えるどっしりとした 1839 峰。存在感ある一枚です。三月は、春の到来の喜びを感じさせる一枚。黄金色に色づいた里山での、作者の驚きと興奮が伝わってきます。四月は、朝日に照らされた北穂高岳。残雪期の山の美しい朝を捉えています。五月は、蝶ヶ岳から見た安曇野。まさにこの瞬間、この場所でしか見ることのできない奇跡のような瞬間を捉えています。六月は、ミヤマキリシマの花咲く平治岳。鮮やかなピンク色に胸が躍ります。七月は、スッカン沢での沢登り。しっとりした沢の雰囲気ユニークな視点で捉えた、涼しさを感じる一枚です。八月は、白山の夏。咲き乱れる花々と山の緑に夏らしさを感じます。九月は、宝永山。独特の自然景観を色彩豊かに捉えています。十月は、秋田駒ヶ岳から臨む岩手山。「紅き大海に浮かぶ岩手山」というタイトルにもうっとり。息を呑む一枚です。十一月は、剣山。クマザサ帯に差し込んだ美しい光を捉えています。十二月は、北八ヶ岳。雪の乗った木々や山肌に、冬山の空気感が伝わってきます。

いずれも、山の個性と、作者の独自の視点とが伝わってくる素晴らしい写真でした今年もたくさんの応募をいただき、どうもありがとうございました。



表紙



1月



2月



3月



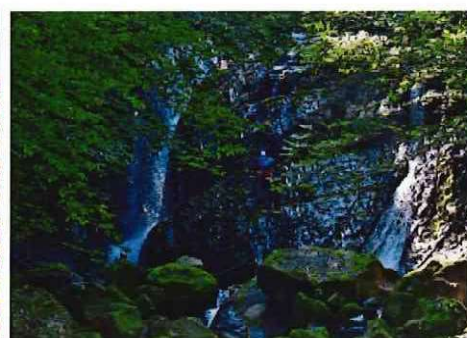
4月



5月



6月



7月



8月



9月



10月



11月



12月

	作品名	山名	撮影者	所属会
表紙	憧れの岩稜	ジャンダルム	北村浩嗣	長泉麗峰山の会/静岡
1月	雪雲の抜ける白馬三山	白馬岳・杓子岳 ・鑓ヶ岳	漆崎隆之	十日町おだまき山の会/新潟
2月	聳える 1839 峰	1839 峰	馬場晶悟	札幌中央勤労者山岳会/道央 帯広勤労者山岳会/道東
3月	黄金色の里山	東海自然歩道	福原みさよ	あさぎり山の会/静岡
4月	春の朝日を浴びる北穂高岳	北穂高岳	久保田純子	浜松勤労者山岳会/静岡
5月	安曇野の春	蝶ヶ岳より	岩田信一	茅野労山しらびそ山の会/長野
6月	天空の絶景	平治岳	三浦紀子	大分勤労者山岳会/大分
7月	真夏の楽しみ	栃木県スッカン沢	岡孝雄	プリムラ山の会/東京
8月	「加賀白山」夏山讃歌	白山室堂	宮本勇	山陽カルチャーマウンテンクラブ/岡山
9月	宝永山の秋	宝永山	橋本紀美子	太田ハイキングクラブ/群馬
10月	紅き大海に浮かぶ岩手山	秋田駒ヶ岳	黒須敦司	カモの会/神奈川
11月	道	剣山	林弘幸	須磨勤労者山岳会/兵庫
12月	雪に覆われた坪庭と北八ヶ岳の 南方を遠望する	北八ヶ岳	大友津代	みやぎトレッキングクラブ/宮城

作品名は未確定

21(金) 20:00 自宅~名神道~明石大橋を渡り四国へ。松山道・いよ西条 IC から R11 へ下りた所に 24H セルフの給油所があり、給油を済ませ R194 を新寒風トンネルへ向かう。入野 PA で仮眠。

22(土)

05:00 起床~旧寒風トンネルは通行止め。常時か、臨時か、時間帯か暗くて文字がよく見えず確かめる間もなく通過。

06:00 新寒風トンネルを抜けて左折し、旧寒風トンネル南出口~まだ暗い中を石鎚山へ向かう。道路には 5cm 程の積雪。だんだん深くなる。

07:30 石鎚山登山口 P 着。ここまで来たが雪のため石鎚山に登るのを諦めて引き返し、折角なので瓶ヶ森に登る。登山口から男山~女山~瓶ヶ森ヒュッテ前を通り登山口へ戻る周回コース。氷見二千石原のウラジロモミの木々が白い雪原に映え、雪原越しに石鎚山が見える。

10:52 旧寒風トンネル南出口 P に戻る。初めの予定ではここから寒風山を経て笹ヶ峰へ登り丸山荘に泊まるつもりだったが、雪が深いので予定変更。丁度トンネルを抜けて来た車に抜けられる事確かめ旧寒風トンネルを下る。トンネルは短く、すぐに九十九折れの山道になる。この道が危険なので夜間通行止めにしていただいた様だ。やがて R194 に合流し、少し行った所で電話が通じ丸山荘をキャンセルする。下津地バス停から笹ヶ峰林道に入り紅葉の渓谷沿いの道に行く。吉井橋を過ぎると舗装が終わり地道になりやがて悪路に変わる。こんな道はあちこち通っているがやはり嫌な物だ。

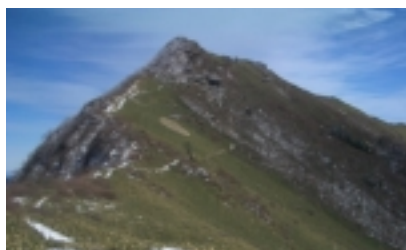
11:57 笹ヶ峰林道登山口 P 着。思いがけず 10 台以上止まっていた。

12:08 笹ヶ峰林道登山口~谷沿いの道に登る。滝の音がして縦間に幾筋もの滝が見える。途中から登山道に 5cm 位の積雪。

12:58 丸山荘着。この辺りは積雪 10cm 位。衣服調整。

13:03 丸山荘~笹ヶ峰に向かう。この先は 20cm 以上の積雪。急斜面で滑るので軽アイゼンを着ける。左が大きく落ち込んだ狭い登山道。

13:50 笹ヶ峰山頂。小笹・コメツツジの広がる山頂はとても気持ちの良い草原の趣。4~5 人先着。写真を撮って貰う。石鎚山とその連山や瀬戸内海や雪化粧した剣山も見える。雄大な景色を楽しむ。



13:56 笹ヶ峰山頂~下山を急ぐ。父山分岐からは急な下り。慎重に進む。やがて樹林の中に入る。

14:26 丸山荘着。何とか無事ここまで下りた。軽アイゼンを外す。14:30~来た道に戻る。

15:05 登山口 P 着。雪で濡れた靴と靴下を履き替えようとして足が攣り、ストレッチで凌ぎ今夜の宿筏津山荘に向かう。相当足が疲れている様だ。

17:30 筏津山荘着。即入浴して疲れた体を解す。今夜の客は 1 人。夕食は思わぬご馳走で食べ過ぎた。



No.191 東赤石山 1707m

2008.1123(日)

3.21(金)～23(日) 単独山行

21(金)20:00 自宅～新寒風トンネル～入野 PA で仮眠

22(土)12:08 笹ヶ峰林道登山口P～笹ヶ峰登頂～筏津山荘泊

23(日)

06:30 起床。朝食前に身支度を整え、荷物整理もして準備万端。

07:30～朝食の筈が 30 分遅れ、その間に筏津鉱道を見学。

08:25 瀬場登山口着。路肩に 3 台分のスペースとトイレがあり 2 台先着。

08:27～登り始めてすぐに登山道にキラキラ光る石が多数現れる。鉱石の様だ。往時の名残か建物跡の石垣も多い。

08:40 筏津登山口からの道と合流。暫く行くと紅葉の谷や八間滝が見える。秋らしい景色を楽しみながら登る。支流が多く水場が多い。

09:06 瀬場谷。新しく架け替えられた木橋を渡るとすぐに赤石山荘への分岐。右に進み東赤石山へ直行する。

09:20 桧林の中の道。左右に谷川が流れ大小幾つかの渡渉があるが、今は水量が少なく安心して渡れる。登山道に雪が現れ凍っている。

09:41 最後の渡渉点を石伝いに渡る。ここからは岩場になり、大小ゴロゴロの岩の道を登る。雪を避け凍っていない岩の上を歩く。

10:24 横道合流点。ここから東赤石山へ急登の岩場。雪も 5cm 程積り、凍っていてよく滑る。先を行く 2 人の女性を追う様に登る内、赤石越辺りで道を見誤り、左の八巻山へ進んでしまう。2 人に追いつき教えて貰い引き返す。

10:42 横道合流点に戻り確かめると、右・東赤石山とある。合流点で標識を見落としてしまい、暫く登った所に左へ進む道を登ってしまった様だ。ここから東赤石山へは 10 分程だが、大岩に雪が凍り付いていてとてもよく滑る。立木等を支えに慎重に登る。

10:50 東赤石山山頂。雪は 10cm 以上。風が冷たい。山頂付近で 1 人すれ違う。

10:55 赤石越。今回は雪のため八巻山へ回るのは諦め、赤石山荘回りで下山する事にする。

11:01 横道合流点。赤石山荘への道はほぼ水平で、岩がゴロゴロしていて雪も凍り付いてはいるが、笹ヶ峰の眺めが良い気持ちのいい道。

11:23 赤石山荘。雪の中に閉ざされている。八巻山の茶色い岩肌と東赤石山を見上げる。

11:39 渡渉点。この先は谷川の右岸を歩きながら、2 つ目の渡渉点で谷川を渡り急な山道を下る。予想外に急で長いコース。途中 7～8 人のグループとすれ違う。

12:28 瀬場谷合流点。やっとここまで下りて来た。ここから先は少なだらかになり安心。

13:00 登山口 P 着。無事下山。

13:15～身支度を整え帰路に着く。伊予三島へ抜け、松山道～徳島道～淡路島を通して帰る。垂水 JCT から阪神高速に入ると大渋滞。

18:08 無事帰宅。



9月号案内

表紙の絵 表紙の言葉

永富憲司さん（やましな山の会）

山の思い出刻む・山靴

* 今回、やましな山の会の会員さんから表紙絵の提供いただきました。

素晴らしいスケッチです。

よく歩かれているんでしょうか、使い込まれた靴の様子など細かな所まで手が入られているのが見て取れます。

「京都労山」は会員みんなの手で作られています。みなさんの手元に未発表の絵やスケッチ、写真などありませんか？

こころあたりのある方は是非、編集部までご一報ください。



<お知らせ>

「提案 情報 投稿」原稿を募集しています。連載企画の内容でも OK です。労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介ください。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方」など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

* 原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

* 字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2024年 京都府連盟 月間予定表

9 月（長月・SEP）		
1	日	
2	月	自然保護委員会
3	火	事務局長会議
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	大文字登山道整備
8	日	大文字登山道整備
9	月	常任理事会
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
18	水	
19	木	
20	金	やまびこ利用日
21	土	
22	日	秋分の日
23	月	振替休日
24	火	常任理事会 気象勉強会
25	水	女性委員会
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	

1 0 月（神無月・OCT）		
1	火	事務局長会議
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	第 16 回初級登山学校開校式
7	月	自然保護委員会
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	スポーツの日
15	火	常任理事会
16	水	
17	木	
18	金	やまびこ利用日
19	土	
20	日	初級登山学校「ボッカトレ 武奈ヶ岳」
21	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
22	火	気象勉強会
23	水	女性委員会
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	初級登山学校 机上 2
28	月	常任理事会
29	火	
30	水	
31	木	